

理事長挨拶 2

■ 奨学事業

渥美奨学金の概要 4

渥美財団設立 20 周年記念祝賀会 in ソウル52013 年度渥美奨学生(19 期生)研究報告会6鹿島建設技術研究所見学8真夏のバーベキュー8

2014 新年会9ラクーン会10

■ 国際交流事業

SGRA の概要 12

海外研究交流活動

第3回 日台アジア未来フォーラム 13

第 7 回 SGRA チャイナ・フォーラム 14

第 6 回 ウランバートル日モ国際シンポジウム 14

第16回・第17回 日比共有型成長セミナー 15

第 13 回 日韓アジア未来フォーラム 16

国内研究交流活動

第 45 回 SGRA フォーラム 17

第46回 SGRA フォーラム 17

第 2 回 SGRA ワークショップ in 蓼科 18

第 2 回 SGRA スタディツアー 19

第 4 回・第 5 回 SGRA カフェ 20

財団運営

業務日誌 21

財務諸表 22

財団人名簿 23

奨学生名簿 24

2013年度の活動にご協力いただいた皆様

3

11

理事長 渥美伊都子

いもので渥美国際交流財団 (AISF) は本年 20 周年を迎えました。毎年 12 名というささやかな奨学事業ですが、「継続は力なり」で、2014 年度 20 期生で 42 ヶ国・地域から 241 名の奨学生を支援させていただくことになります。奨学期間を終えた渥美奨学生の皆さんが、私の主人が生前に手遊びに描いていた狸に因んで名

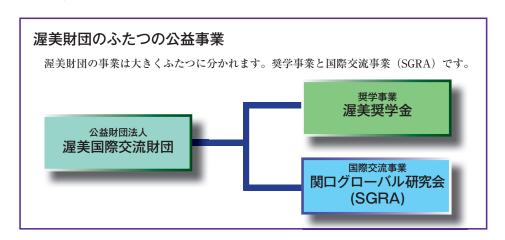


付けた「ラクーン会」という同窓会を立ち上げてくださり、世界中に広がる知日派の研究者を結ぶ基盤ができました。

設立5年目に、このネットワークを活かしてプロジェクトをする関口グローバル研究会 (SGRA) を設立しました。関口は当財団の事務局がある場所の名前で、ここからグローバルに発信していこうという意気込みです。日本と海外5つの拠点(韓国、フィリピン、中国、モンゴル、台湾)で、毎年、フォーラムやシンポジウムを開催し、レポート、ホームページ、メールマガジン等で発信しています。さらに、これらの事業の集大成となるのがアジア未来会議です。1回目は2013年3月にバンコクで開催し、今年の夏には2回目をバリ島で開催する予定です。今回の公益法人改革により、奨学事業と国際交流事業 (SGRA) が渥美財団の公益目的事業の2本の柱となりました。

去る2月14日、韓国ラクーン会(KSR)による当財団設立20周年祝賀会がソウル大学湖厳教授会館で開かれました。大雪の羽田を出発しましたがソウルは快晴で暖かく好天気に恵まれ、30余人のラクーン達が家族共々集まってくださいました。小正月の伝統的なお料理をいただきながら祝辞や自己紹介に続き、「応答せよ! AISF 20周年、KSR 10周年」の発表、伽耶琴の演奏や金さんの息子さん達のベースとギターの合奏など、手作りの心温まる和やかな会でした。

お陰さまで当財団がつつがなく発展できましたのも、設立当初よりご支援くださいました多くの方々のお励ましによる賜物と心より感謝申しあげます。現在政治的には難しい近隣諸国との関係の改善のためにも、今後ますます大事なのはこのような草の根の交流であると思います。どうぞ今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



接着

生活支援と同窓会(ラクーン会)活動

美財団は、奨学生の皆さんが自分とは異なることをしている人と会い、自分の専門以外のことを話し合う場を提供しています。奨学金の支給に際しても、銀行振り込みではなく、必ずお目にかかってお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間終了後も緊密に連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的なネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。 ラクーン会は世界各地で開催されています。

2013 年度の 主な活動

- 渥美財団設立 20 周年記念祝賀会 in ソウル p5
- 2013 年度渥美奨学生(19 期生)研究報告会 p6
- 鹿島建設技術研究所見学 p8
- 真夏のバーベキュー p8
- 2014 新年会 p9
- ラクーン会 p 10

※上記以外にも毎月「月例会」を開催、奨学生の生活支援を行っています。

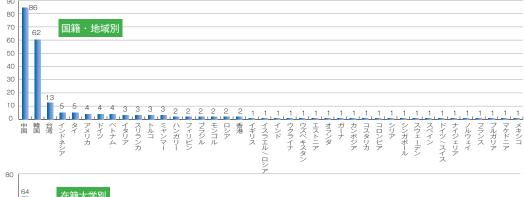
渥美奨学金の概要

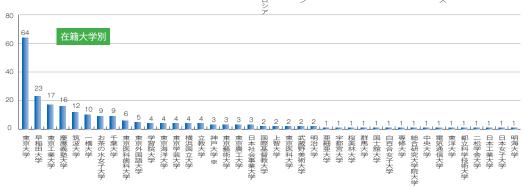
美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍する留学生を対象に、毎年約12名の奨学生を募集・選考し、月額20万円の奨学金を支給しています。支給年限は一年で、継続はありません。また、奨学生の専攻分野と国籍に制限はありませんが、一分野・地域に偏らないように配慮しています。2013年度(19期生)までに、40ヶ国・地域、229人を支援してきました(下図)。

渥美奨学生統計

渥美財団奨学生統計表

1995 年度―2013 年度 (40 ヶ国・地域、229 人)





1995 年度—2013 年度 (40 大学、229 人) *阪神大震災被災特別奨学生

応募および選考

■ 応募資格 (下記の全てに該当すること)

- 1. 日本以外の国籍を有し、日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、或いは、他国の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。他国の大学院より博士号を取得する場合は、渥美奨学金の終了後1年以内に博士号を取得する見込みのある方。
- 2. 渥美奨学金受給期間、自分の所属する大学院研究 科 (研究室) と自分の居住地が、関東地方 (東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県) にある方。
- 3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動 に積極的に参加する意思のある方。
- **4.** 日本語が堪能な方。応募書類と面接は全て日本語だけです。
- 5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職(常勤職)に 就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。

応募方法

奨学金応募者は、7月1日以後、各大学院の留学生奨学金担当課または当財団事務局まで、応募要項と申込書をご請求下さい。同日以後、財団ウェブページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年9月に受け付けます。

選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考 委員による書類選考と面接試験により審査します。選 考の結果は12月中旬に通知します。

選考の方針(抜粋)

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えております。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との「調和ある発展」へ貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

渥美財団設立 20 周年記念

2014年2月14日(金) 於:ソウル大学湖厳教授会館

ソウルを皮切りに渥美財団設立 20 周年記念祝賀会の開催が始まっ た。2014年度には、中国や日本での開催も決定。北京、東京の 祝賀会では、それぞれどのような個性が出るのかも期待される。



「応答せよ! AISF20 周年、KSR10 周年」と題し、李来賛初代 KSR 会長より KSR (Korea Society of Raccoon) と、渥美財 団 20 年の歩みが報告された。



財団設立以来の数多くの写真をなつかしく見ながら、皆で20年間 の足跡をたどったのち、理事長の乾杯でいよいよ晩餐会が始まった。



この日は、「チョンウォル(正月)テボルム(大満月)」と呼ばれる 小正月の日。厄を払い、豊穣を祈願する特別メニューが並んだ。



偶然小正月と重なったことで、祝賀会に韓国風な味わいが加わり、 晩餐時には、伽耶琴の演奏も披露された。



KSRメンバーの近況報告や、金雄熙さんのご子息とお友達のギ ターとベースの演奏などが続き、いよいよ宴はクライマックスへと 差し掛かる。



祝賀会終了後、参加者は「テボルム」らしい大きく明るい満月を仰 ぎ見ながら、一年の誓いと渥美財団のこれからの益々の繁栄を願っ たことだろう。

詳細は AISF ニュース http://www.aisf.or.jp/jp/ 2014.02.14 渥美財団設立 20 周年記念祝賀会 in ソウル 参照。

2013 年度渥美奨学生 (19 期生)

研究報告会

3月1日(土)

於:鹿島新館・渥美財団ホール

本年度・来年度の奨学生、ラクーン会会員、指導教官の先生方、伊藤国際教育交流財団、鹿島学術振興財団、鹿島美術財団などの来賓、財団の役員とスタッフを含め、約50名が集い、12名の2013度の奨学生が、博士論文のテーマを中心とする研究報告を行った。



研究報告会は、渥美伊都子理事長のご挨拶から始まった。雛人形に 関する思い出が語られ、奨学生たちに激励のお言葉が贈られた。



図表や動画を使ったり、実物を見せたりする等のさまざまな工夫が 凝らされ、分かりやすいだけでなく、研究に対する情熱や愛着が伝 わってくる。



研究発表を終え、留学生たちの指導教官や来賓の方々からねぎらい や貴重なコメントを賜った。



来賓の広田貞雄氏より2013年度奨学生たちへ、お庭の小さな黄色い花を花瓶にいれた手作りのプレゼントが送られた。



報告会終了後、同ホールにて親睦会が開かれ、奨学生、財団の役員、 来賓の皆さんは、打ち解けた和やかな雰囲気の中で親睦を深めた。



「これからも世界中のどこにいても連絡を取り合いましょう」と今 西淳子常務理事。絆は永遠に絶えない大切なものであることを確か め合った。

詳細は AISF ニュース http://www.aisf.or.jp/jp/ 2014.03.19 2013 年度渥美奨学生研究報告会 参照。

2013年度奨学生の発表テーマ一覧

時枝誠記の言語理論の成立 一エトムント・フッサールの思想との関係 から見た「言語過程説」の展開—

Aroz, Rafael Aingeru アロツ、ラファエル アインゲル (スペイン)

所属:東京大学大学院 学際情報学 専門分野:文化・人間情報学



「トーキーは P.C.L.」 一映画製作所 P.C.L. を再考する NordstrÖm, Karl Johan ノルドストロム、カール ヨハン (スウェーデン)

所属:早稲田大学大学院 文学研究科

専門分野:演劇映像学



韓国における外国人子女教育政策と 「外国人の子ども」の進路形成

崔 佳英 チェ カヨン (韓国)

所属:東京大学大学院 総合文化研究科 専門分野:社会学



集光型太陽光発電システムにおける マスクレス・プラズマエッチング・ナノ 構造を用いた低反射光学素子

Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo タマヨ、ルイスエフラインエドアルド (コロンピア)

所属:東京大学大学院 工学系研究科

専門分野:先端学際工学



MCT による金属成膜の解析 および TiO2/ 金属複合光触媒薄膜の 創製と高機能化

郝 亮 かく りょう (中国)

所属:千葉大学大学院 工学研究科 専門分野:人口システム科学



日本における多文化ソーシャルワーク (SW) 教育プログラムの構築

Virag, Viktor

ヴィラーグ、ヴィクトル (ハンガリー)

所属:日本社会事業大学大学院 社会福祉学

研究科

専門分野:社会福祉学



コラーゲン VS 腎臓再生医療

許 漢修 きょ かんしゅう (台湾)

所属: 筑波大学大学院 生命環境科学研究科

専門分野:生命産業科学



夏目漱石文学の研究 一鏡の表象と「うつし」の文学

解 璞 かい はく (中国)

所属:早稲田大学大学院 文学研究科

専門分野:日本語日本文学



話し合いにおける 「不同意コミュニケーション」に関する 研究 ―不同意を巡る

待遇コミュニケーション教育に向けて一 金 桂英 きん けいえい (中国)

所属:早稲田大学大学院 日本語教育研究科

専門分野:日本語教育学



酸化マグネシウム/水系ケミカルヒート ポンプのための伝熱促進複合材料に 関する研究

Zamengo, Massimiliano ザメンゴ、マッシミリアーノ (イタリア)

所属:東京工業大学 理工学研究科

専門分野:原子核工学



幕末・明治初期における 儒学的「道」の展開 ―中村敬宇の思想をめぐって―

李 セボン (韓国)

所属:東京大学大学院 総合文化研究科

専門分野:地域文化研究



脊髄損傷後の運動機能の改善

張 亮 ちょう りょう (中国)

所属:慶応義塾大学大学院 医学研究科

専門分野:医学研究

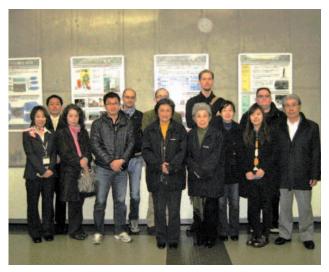


鹿島技術研究所見学会

11月27日 (水)

於:鹿島技術研究所本館研究棟·西調布実験場

2013年度の奨学生7名と、渥美理事長を含む財団メンバー5人の計12名で、飛田給にある鹿島建設の技術研究所を訪問した。本館研究棟ではビデオによる紹介から始まり、屋上緑化、オフィスの各種省エネ技術等を見学。その後、西調布実験場へ移動して、3次元高性能振動台と構造実験棟などの設備や実験場を見学した。



業界初の技術研究所として 1949 年創立。現在は飛田給本館、西調布実験場、葉山水域環境実験場、検見川緑化実験場で研究開発を行なっている。



本館の屋上緑化の説明を受ける一行。世界でもトップクラスの建設 技術の開発に取り組んでいる研究所を見ることができ、貴重な経験 となった。

詳細は AISF ニュース http://www.aisf.or.jp/jp/ 2013.11.27 鹿島技術研究所見学会報告 参照。

真夏のバーベキュー

7月27日(土)

於:鹿島新館・渥美財団ホール

東京の夏の日差しが照りつける中、渥美奨学生、ラクーン会会員、家族、スタッフを合わせて、約40人が集まった。パーティーは夏の疲れ、そして多忙な研究の日々のストレスから一休みする機会となり、参加者はさまざまな料理を味わいながら賑やかに歓談し、楽しい時間を過ごした。



中庭の鮮やかな緑の中にバーベキューセットが置かれ、炭と焼き上がる海鮮や肉の、食欲をそそる香りがホールいっぱい漂ってきた。



夏の定番のスイカや手作りのライムリーフのエキゾチックな香りの 効いたインドネシアのお菓子も味わうことができ、最後はシャンパンで乾杯。

2014 新年会

1月11日(土)

於: 鹿島新館・渥美財団ホール

渥美奨学生とラクーン会員、家族および財団スタッフ 50 人以上が集まり、楽しく新年を祝った。手締めで会を締めくくった後も、理事長とともに干柿を美味しく頂きながらのおしゃべりが続き、親睦を深めた。



豪華なおせち料理、お雑煮、お寿司や餃子などのほか、春巻きのような形で、少し伊達巻の味がする名前の分からない料理も登場。



イタリアのザメンゴ・マッシミリアーノさん(2013 狸、愛称マッシ)が作ってくれた温かいパスタを、皆で美味しくいただいた。



食事後は、大先輩から新米狸へという順番で自己紹介タイム。今年 も、2歳半から中学生までの可愛い子供がたくさんきてくれた。



「運だめし」のゲームも行われ、勝った人たちは商品券やマフラーをもらって大喜び。ジャンケンの心理分析をするなど、大いに盛り上がった。



恒例となった理事長の誕生日を皆で祝い、記念撮影。前年と異なる色の花束を贈り、 「変わる」お花に「変わらぬ」ご健康とご多幸への祈りを込めた。

ラクーン会

毎年世界各地で開催されている渥美奨学生の同窓会、通称「ラクーン会」。2013年度は日本、韓国、中国、ニューヨーク、ボストンでそれぞれ1回、計5回開催された。



4月27日 韓国ラクーン会 in ソウル

於:仁寺洞・薬膳料理「ヌィジョ」

今西淳子常任理事を囲み8名が参加。渥美財団創立20周年を目前に控え、KSR (Korea Society of Raccoon) 10周年も併せた祝賀会の開催を決め、この夜の参加メンバーが準備委員になった。



5月21日 ラクーン会 in 北京

於:北京外国語大学近く・「京韵坊」

SGRA チャイナフォーラム前日の開催となったこの夜、フォーラム参加者に加え、バンコク会議に参加してくださった先生方も交え、北京料理とホットな会話を楽しんだ。



6月28日 ミニラクーン会 in 東京

於:新宿の摩天楼・最上階レストラン

2005年度同窓狸のラクーン会を開催。集まった狸は7匹。会場は 奨学生時代に最初の食事会を開いたレストランである。食事をしながらの4時間は楽しく流れ、近況や新たな技術について語り合った。





3月20日 ラクーン会 in ポストン

於: プルデンシアルセンター・チーズケーキ工場

ボストン在住のラクーンたちが連絡を取り合い、ボストン・ラクーン会を開催。今西淳子常務理事を囲み、各自の研究課題をはじめさまざまな話題が夕食のテーブルを盛り上げた。



3月23日 ラクーン会 in ニューヨーク

於:イタリアンレストラン「Pisticci」

参加者はニューヨーク訪問中の今西淳子常務理事、ニューヨークで活躍する狸二人、そしてニューヨークに来ていた狸二人。皆コロンビア大学との繋がりがあり、「ラクーン会 at コロンビア大学」とも呼べる会だった。



詳細は AISF ニュース http://www.aisf.or.jp/jp/04.27 韓国ラクーン会 in ソウル(2013 年春)05.21 ラクーン会 in 北京 2013 05.28 ミニラクーン会 in 東京 2013 03.20 ラクーン会 in ボストン 2014 03.23 ラクーン会 in ニューヨーク 2014 参照。

界各国から渡日し、長い留学生活を経て日本の大学院から博士号 を取得した知日派外国人研究者が中心となって、個人や組織がグ ▲ ローバル化にたちむかうための方針や戦略をたてる時に役立つよ うな研究、問題解決の提言を行い、その成果をフォーラム、レポート、ホー ムページ等の方法で、広く社会に発信しています。この国際交流事業を実 施する組織が「関口グローバル研究会」(SGRA・セグラ)」です。

SGRA は、ある一定の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広 い研究領域を包括した国際的かつ学際的な活動を狙いとしています。研究 テーマごとに、多分野多国籍の研究者が研究チームを編成し、広汎な知恵 とネットワークを結集して、多面的なデータから分析・考察して研究を行 なっています。



における研究交流活動

現在5つの海外プロジェクトと隔年毎にアジア未来会議を開催。2013年度は5ヶ国で6回の フォーラム・シンポジウムを開催した。

- 1) SGRA台湾フォーラム →第3回日台アジア未来フォーラム開催 p 13
- 2) SGRA チャイナ・フォーラム →第7回SGRAチャイナ・フォーラム開催 p 14
- 3) ウランバートル日モ国際シンポジウム →第6回ウランバートル日モ国際シンポジウム開催 p 14
- 4) 日比共有型成長セミナー →第16回日比共有型成長セミナー開催 p 15 →第17回日比共有型成長セミナー開催 p 15
- 5) 日韓アジア未来フォーラム →第13回日韓アジア未来フォーラム開催 p 16
- ◎ アジア未来会議 →第2回は2014年8月22日~24日インドネシア バリ島開催予定

国 内 における研究交流活動

*** 来のSGRAフォーラムにSGRAワークショッ **に**プ、SGRAスタディツアー、SGRAカフェが 加わり、順調に回を重ねている。

- 1) SGRAフォーラム → 第45回 · 第46回 SGRA フォーラム 開催 p 17 ※SGRAフォーラムの企画・運営は、下記の7 つの研究チームが担当しています。
 - ①グローバル化と地球市民 ②環境・エネルギー ③IT と教育 ④東アジアの人材育成 ⑤東アジ アの安全保障と世界平和 ⑥宗教と現代社会 7構想アジア
- 2) SGRA ワークショップ →第2回SGRAワークショップ開催 p 18
- 3) SGRAスタディツアー →第2回SGRAスタディツアー開催 p 19
- 4) SGRAカフェ → 第4回 · 第5回 SGRA カフェ 開催 p 20

SGRAの概要



目的・事業

会は、「地球市民の実現」という共通の理念に基づき、一般社会・教育・文化など様々な問題について、学際的、国際的、かつ多元的な発想の研究成果を創造し、それらを素に政策の立案、提言、実践支援及びその普及を通じて、地球市民の将来を考え、価値ある利益の増進と良き社会の発展に努めることを目的としています。

この目的を達成するため、研究会の開催、情報提供活動、 普及・啓発活動、政策提言活動、その他「地球市民の実現」 にかかわる活動を行います。

専門の研究者 理論・データ体系 創造・新知識 経験・意欲 多分野の研究 展済・経営・技術・歴史 芸術・改化・心理・医学 ・ 現・ 文化・心理・医学 ・ で和と人類の幸福へ貢献

会員

本会は、本会の目的に賛同し、共に行動あるいはこれ を支援しようとする賛助会員(法人と個人)、および特 別会員、メール会員をもって構成されています。

- 1. 賛助寄附者を賛助会員と呼称します。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
- 2. 特別会員は運営委員会により指名されます。本会の年次報告、SGRA レポート、SGRA かわらばんの配送を受けることができます。
- 3. メール会員は原則本人からの自動登録・退会となりますが、運営委員会の承認を必要とします。 SGRA かわらばんの配信を受けることができます。

運営体制

本会は、渥美財団の基本財産運用益と法人・個人から の寄附金、諸機関から各プロジェクトへの助成金、そ の他の収入を運営資金とし、運営委員会、研究チーム、 プロジェクトチーム、編集チームによって活動を推進 しています。

- 1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
- 2. 研究チームは、研究員により構成し、必要に応じて他の参加を求め、メンバーの意見を反映させて事業を遂行し、広く情報提供を行います。
- 3. プロジェクトチームは、主に海外拠点プロジェクトにおいて個別案件の時限組織として編成されます。
- 4. 編集チームは、編集委員をもって構成し、レポートの編集、発行を行います。

油外

第3回 日台アジア未来フォーラム

「近代日本政治思想の展開と東アジアのナショナリズム」

日時: 2013年5月31日(金) 会場:台湾大学法律学院国際会議場 共催:国立交通大学社会と文化研究所

後援:(公財)交流協会台北事務所、台湾日本人会

協力:台湾中央研究院、台湾大学日韓研究整合プラットフォーム、

台湾連合大学システム カルチュラル・スタディーズ国際センター

協賛:全日本空輸(株)、中鹿營造(股)有限公司

-ム、 て生じた現在の東アジアのナショナル・ア イデンティティに関わる諸問題に焦点をあ てた。

本フォーラムでは、ナショナリズムなど、 近代西洋思想の受容によって展開された近

代日本政治思想と諸概念、及びそれらの概 念と思想が中国と日本帝国の植民地におい

て受容、変容されて当地の政治情況と絡み

ながら展開されていた情況を検討。さらに、

こうした近代政治思想の受容と交錯によっ

法政大学法学部の渡辺浩教授による基調講演では、Nation・民主・自由という三者の複雑な関係と可能性について、鋭い見解が示された。



会場は終日ほぼ満席。1 つのセッションだけの参加者もいたので、 基調講演と3 つのセッションを合わせ参加者は300 名を超えたで あろう。



第 1 セッションは、「ナショナリズムをめぐる近代日本政治思想の 展開と中国」というテーマで 3 名の学者が報告を行った。



第2セッションは、「ナショナリズムをめぐる近代日本政治思想の 展開と台湾、韓国」というテーマで行われた。



第3セッションは、「ナショナル・アイデンティティを巡る現代東アジア」というテーマで3名の学者が報告を行った。



今回の会議は多くの人が参加しただけではなく、発表した論文が 互いに関連し合い、多くの興味深い問題が提示された。

海め

第7回 SGRA チャイナ・フォーラム

講演:宮崎幸雄「ボランティア概論|

日時: 2013年5月22日(水)

場所:北京外国語大学日本学研究センター3階多機能ホール 主催:渥美国際交流財団関ログローバル研究会(SGRA)

後援:国際交流基金北京日本文化センター

日本の民間人による公益活動を紹介するフォーラムを、北京をはじめとする中国各地の大学等で毎年開催。今回は公益財団法人東京 YMCA 同盟の宮崎幸雄名誉主事を迎え、長年の体験に基づいたボランティア活動の意義ついてご講演いただいた。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/ 第7回チャイナフォーラム「ボランティア概論」報告 参照。



講演は宮崎先生のボランティア原体験から始まり、最後は開催地の中国のボランティア活動の限界と新たな展望で締めくくられた。



質疑応答では、ロータリー米山中国学友会の方や北京外国語大学の学生よりコメントと質問を頂戴した。

海め

第6回ウランバートル日モ国際シンポジウム

モンゴルにおける鉱山開発の歴史、現状と課題

日時: 2013年9月6(金)~8日(日)

場所: モンゴル・日本人材開発センター 多目的室、セミナー室

(モンゴル国ウランバートル市)

共同主催: 渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)、

モンゴル科学アカデミー歴史研究所

後援: 在モンゴル日本大使館、モンゴル・日本人材開発センター、

モンゴルの歴史と文化研究会 協賛: 双日株式会社、鹿島建設株式会社 このシンポジウムでは、モンゴルにおける資源開発の歴史を振り返りつつ、同国の資源開発の現状、問題点をより多元的かつ総合的に把握し、さらに経験や教訓、問題への解決方法について、広い視野から検討。モンゴルの持続可能な資源開発の発展のために意味のある議論を展開することを目指した。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news ボルジギン・フスレ「第6回ウランバートル日モ国際シンポジウム『モンゴ ルにおける鉱山開発の歴史、現状と課題』報告」 参照



6日の会議では13本の論文発表、7日は鉱山開発と環境保護を テーマとする11本の論文発表の後、炭鉱の見学が行われた。



二日間にわたる会議には90人あまりが参加。また、モンゴル国営 通信社など22社が同シンポジウムについて報道した。

第16回・17回日比共有型成長セミナー

日比共有型成長セミナーの2本の柱となるテーマは「都会・地方の格差」と「製造業」。2013夏は「都会・地域の格差」を中心に、2014春は「製造業」に着目し、2本の柱のつながりを具体的に意識しながら、活発な議論が交わされた。

【第 16 回】「都会・農村の格差と持続可能な共有型成長」

日時: 2013年8月23日(金)

会場:フィリピン大学工学部(マニラ市)

主催:渥美国際交流財団関ログローバル研究会(SGRA)

後援:在フィリピン日本大使館

協力:フィリピン大学建築学部、フィリピン水道・下水・衛生センター、

フィリピン大学機械工学部

「持続可能な共有型成長(その他)」「都会・農村のコミュニティにおける社会サービスと生活」「持続可能な農業」「持続可能な都市」「都会の緑とグレー」の5ブロックに分かれ、各ブロック平均5人の発表者から各15分の報告があった。



合計 26 本の報告は一日がかりだったが、どの報告も、私達が目指すフィリピンのための KKK(効率・公平・環境)を掲げたものだった。



今回は様々な点で今までの記録を更新。参加者 200 人強、報告 25 本、協力や協賛の数も倍増し、皆様のご支援に心から御礼を申し上げたい。

詳細は SGRA かわらばん http://www.aisf.or.jp/sgra/active/sgra2013/ エッセイ387:マックス・マキト「マニラ・レポート2013年夏」 参照。

【第 17 回】「ものづくりと持続可能な共有型成長」 "Manufacturing and Sustainable Shared Growth"

日時: 2014年2月11日(火)

会場:フィリピン大学工学部エンジニアリング・シアター 主催:渥美国際交流財団関ログローバル研究会(SGRA)

後援: Commission for Higher Education、在フィリピン日本大使館協力: AMECOS Innovations and Inventions, Inc, Philippine Center

for Water and Sanitation -ITN Foundation, Waste Management

Association of the Philippines, フィリピン大学工学部、フィリピン大学経済学部

「革新(Innovation)」「ITと製造業」「水」「環境・廃棄物処理」「成長の持続可能性」「ミクロとマクロ発展」「福島からの持続可能な製造業への教訓」の7つのブロックで、熱いセッションが繰り広げられた。また、ふくしま再生の会の田尾陽一代表に、飯館村で取り組んでいる7つの挑戦が紹介され、会場の参加者との対話が行われた。



セッションは、午前9時半から午後5時まで続き、約125人という多数の研究者、学生の参加を得ることができた。



翌日はセミナーでの議論を延長する形で、参加者 13 人によるバタアン原子力発電所(建設中止施設)の見学ツアーを実施した。

詳細は SGRA かわらばん 2014 http://www.aisf.or.jp/sgra/active/sgra2014/ エッセイ404:マックス・マキト「マニラ・レポート2014春」 参照。

海仙

第13回日韓アジア未来フォーラム

「ポスト成長時代における日韓の課題と東アジア協力」

日時:2014年2月15日(土)

場所:高麗大学現代自動車経営館 301号

共催:渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)、

韓国未来人力研究院

今回のフォーラムは、今後5年間のプロジェクトの初年度として、いくつかのテーマを総合的に検討。日本と韓国の経験やノウハウを生かした社会インフラシステムを、東アジア地域及び他国へ展開する場合、何をどのように展開できるか、そして東アジアにおける地域協力、平和と繁栄においてもつ意義は何なのかについて探ってみる場となった。



未来人力研究院理事長の李鎮奎教授による開会の挨拶と、今西淳 子 SGRA 代表の挨拶に続き、4 人の研究者による発表が行われた。



基調講演「北東アジアの気候変動対策と大気汚染防止に向けて」では、日中韓の専門家、市民運動家の相互理解と適切な対応策が求められた。



活発な討論が続く。総論的な検討にとどまらず、今後はさらに各論において掘り下げた検討を重ねていかなければならないだろう。



日本と韓国が課題と悩みを共有しながら、いかにアジアへ国際公共財を提供していくか、これこそ課題ではないかとの意見が多かった。



現場で日韓両国の課題や悩みを肌で感じるマスコミや政府関係者も加わり、多様な立場から立体的に検討することの持つ意義を実感できた。



フォーラム終了後の懇親会では、公式乾杯酒の「春鹿」で「任務 完了」を喜び合い、楽しい時を過ごした。ご支援いただいた皆様 に感謝したい。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/金 雄煕「第13回日韓アジア未来フォーラム『ポスト成長時代における日韓の課題と東アジア協力』報告」参照。

国内

第 45 回 SGRA フォーラム

紛争の海から平和の海へ一東アジア海洋秩序の現状と展望

日時: 2013年9月29日(日)

場所:東京国際フォーラム ガラス棟 G409 号室

主催:国際フォーラム「紛争の海から平和の海へ―東アジア海洋秩序の現状と

展望|実行委員会

共催: 渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)

SGRA「東アジアの安全保障と世界平和」チームによる6回目の開催。果たして領土問題は東アジアの海に紛争の渦を沸き起こし、共同体議論は破綻してしまうのか。それとも領土問題は東アジアの人々に協力と平和の大切さを気づかせ、共同体議論の突破口を用意させるきっかけとなりうるか。第45回 SGRA フォーラムはこうした問題意識から企画された。



基調講演のあと、韓国、中国、台湾、日本の立場から報告があり、 北極海における日中韓の強力の可能性についての報告で締めくく られた。



パネル・ディスカッションと質疑応答の時間を経て問題の数々が出 揃い、講演者と報告者たちの暫定的結論が提出された。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/ 南 基正「第 45 回 SGRA フォーラム『紛争の海から平和の海へ― 東アジア海洋秩序の現状と展望』報告」 参照。

国

第 46 回 SGRA フォーラム

インクルーシブ教育―子どもの多様なニーズにどう応えるか

日時: 2014年1月25日(土)

場所:東京国際フォーラム ガラス棟 G610 号室

主催:渥美国際交流財団関ログローバル研究会(SGRA)

このフォーラムでは、インクルーシブ教育の実現に向けて、障碍のある子どもや外国籍の子どもへの支援の実情を踏まえながら、日本の教育がこれから子どもの差異と多様性をどう捉え、権利の保障、多様性の尊重、学習活動への参加の保障にどのように向き合うべきかについて考えた。



基調講演「インクルーシブ教育の実現に向けて」の後、"障碍のある子どもへの支援""外国につながりを持つ子どもの支援"が報告された。



パネルディスカッションでは予定の時間を大幅に超えて熱気溢れる 議論が行われ、その後の懇談会でも講師を囲んで教育の話が続けら れた。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/

権 明愛「第46回 SGRA フォーラム『インクルーシブ教育:子どもの多様なニーズにどう応えるか』報告」参照。

国

第2回 SGRA ワークショップ in 蓼科

原発を知る・感じる・考える

日時:2013年7月5日(金)~7日(日)

会場: 蓼科高原チェルトの森 東商蓼科フォーラム

主催:渥美国際交流財団関ログローバル研究会(SGRA)

協力: Global Voices From Japan、特定非営利活動法人「ふくしま再生の会」、

NPO 法人人財共有センター EN

7月5日(金)、新宿から貸切バスで出発。SUWA ガラスの里、美術館見学を経てチェルトの森に到着し、奨学生の親睦を兼ねた2泊3日にわたるワークショップが行われた。



1日目に行われた「アイス・ブレーキング」タイムでは、ファシリテーターのリードでゲームなども行われ、参加者同士の親睦を自然 に深めることができた。



2日目は、まず午前中に3人の専門家による講演が行われ、それぞれ異なる分野から、原発をめぐるさまざまな情報や視点が提示された。



そして午後、グループごとのディスカッションが始まった。原発から連想される1つの漢字を選定するという課題のもと、熱い議論が交わされた。



3日目はコンテスト形式で結果を報告。6つのグループは、それぞれ「人」、「和」、「カ+カ+カ」、「智」、「黎」、「福」を選び、工夫を 凝らした発表を行った。



詳細は AISF ニュース http://www.aisf.or.jp/jp/ 07.07 2013 年蓼科レポート 参照。

■ 第2回 SGRA スタディツアー

福島県飯舘村へ行って、知る・感じる・考える

日時: 2013年10月18日(金)~20日(日)

場所:福島県飯舘村、南相馬市

主催: 渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA) 協力:「ふくしま再生の会」、Global Voices from Japan

18 日早朝、本年度及び元渥美奨学生、そ の他の SGRA 関係者を中心に、参加者十 数名が池袋のサンシャインシティに集合。 頭を白紙の状態にして現場に入ることが重 要なため、バスの中で初歩的なレクチャー だけを受け、2泊3日のツアーは始まった。



3日間の案内人を担当してくださった、ふくしま再生の会の代表の 田尾陽一さんと合流。レクチャーを聴きながら仮設住宅へ向かう。



仮設住宅では自治会の会長をはじめ入居者の皆さんからお話を伺っ た。最も印象的だったのは、実質的な家族分離状態に関する悩み



飯舘村の小学校3校が移された仮設校舎を訪問し、3人の校長先 生と懇談。生徒たちが学校外で過ごす時間も心配事の一つである。



仮村役場で「通行証」をもらい、避難区域にあたる村に入った。最 近まで村議会議員だった農家の菅野義人さんの案内で村を見学。



国家行政が進める除染事業のぎくしゃくした流れの実態をひと通り 把握した後、ふくしま再生の会による様々なプロジェクトを見学。



最終日は地域の歴史に対する理解を深めるために伊達市の文化財で ある保原歴史文化資料館に立ち寄り、3日間の旅を締めくくった。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/ ヴィラーグ ヴィクトル「第2回 SGRA スタディツアー『福島県飯舘村へ行って、知る・感じる・考える』報告」 参照。 国水

第4回・第5回 SGRA カフェ

場所:寺島文庫1階みねるばの森

主催:渥美国際交流財団関ログローバル研究会(SGRA)

SGRA カフェは、良き地球市民の実現をめ ざす首都圏在住のみなさんに気軽にお集ま りいただき、講師のお話を伺い議論をする 場として 2012 年 10 月にスタート。今年 度は2回開催された。

【第4回】SGRA カフェ 「文革世代の私からみた中日交流 40 年とこれからの中日関係」

日時:2013年6月15日(土) 講師:劉傑(早稲田大学教授) 今回の目的は、昨年以来から緊張感が高まる日中関係をどのように理解、整理すればいいか、リラックスしながらみんなで考えること。少し硬いテーマであったにもかかわらず、清涼感が漂う3時間となった。



劉傑先生の話は、日中の本格的な相互認識や一般の交流が可能になったのは 1980 年代になってからだと、参加者に実感させるものだった。



中国側の国際認識を検討した後、日本側の対中認識についても問題提起された。「価値」のみならず、歴史認識の面でも格差は存在している。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/ エッセイ379:李 彦銘「第4回 SGRA カフェ報告―日中に求められる『温故知新』」 参照。

【第5回】SGRA カフェ 「一私人としての日中日韓関係」

日時:12月7日(土)

講師:河野洋平(元自由民主党総裁)

衆議院議長や外務大臣をも歴任された河野洋平氏は、従軍慰安婦に関する 「河野談話」等でアジアからの留学生に人気が高く、セグラ会員や渥美奨 学生約40名が参加。講演が始まる前から会場は熱気に包まれていた。



講演後、予定時間をはるかにオーバーして、アジアからの留学生・ 元留学生からの質問に次々と的確に答えてくださる河野洋平氏。



来場した留学生・元留学生から、東アジアの国際関係をめぐる問題がたくさん提起され、有意義な意見交換の場となった。

詳細は SGRA ニュース http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/ 王 雪萍「第 5 回 SGRA カフェ『一私人として見た日中・日韓関係』報告』 参照。

財団運営

2013年度 業務日誌

5日

8日10日

2013年	产度 兼務日誌
4月5日	4月例会(於:学習院・目白倶楽部)
5月9日	5月例会:個人面談(15日まで)
11日	第7回理事会(2012 年度事業報告と決算報告)(於:鹿島新館 / 財団ホール)
22日	第7回 SGRA チャイナ・フォーラム in 北京「ボランティア概論」 (於:北京外国語大学日本学研究センター3階多機能ホール)
31日	第3回日台アジア未来フォーラム「近代日本政治思想の展開と東アジアのナショナ リズム」(於:台湾大学法律学院国際会議場)
6月1日	2012 年度年報発行
6日	第4回評議員会(2012 年度事業報告と決算報告)・親睦会(6月例会) (於:東京大学伊藤学術研究センター)
15日	第4回 SGRA カフェ「文革世代の私から見た中日交流 40 年とこれからの中日関係」 (於:寺島文庫みねるばの森)
18日	第8回理事会(決議の省略)
7月1日	2014 年度奨学生募集要項配布(関東地方の大学に通知、ホームページに掲載)
5日	蓼科リクリエーション旅行(7 日まで)
5日~7日	第2回 SGRA ワークショップ in 蓼科「原発を知る・感じる・考える」 (於:東京商工会議所蓼科フォーラム)
27日	8月例会:納涼バーベキュー(於:鹿島新館 / 財団ホール)
8月23日	第 16 回日比共有型成長セミナー「都会・農村の格差と持続可能な共有型成長」 (於:フィリピン大学)
9月2日	2014年度奨学生応募受付開始
2日	9月例会:個人面談(12日まで)
6日~8日	第6回日モ国際シンポジウム「モンゴルにおける鉱山開発の歴史、現状と課題」 (於:ウランバートル モンゴル・日本人材開発センター)
29日	第 45 回 SGRA フォーラム「紛争の海から平和の海へ一東アジア海洋秩序の現状と 展望」(於:東京国際フォーラム)
30日	2014 年度奨学生応募締め切り(応募者総数 102 名)
10月2日	10 月例会:食事会 (於:「モダン・スカンジナビアン・ダイニング アクアヴィット "東京店」)
8日	2014年度奨学生書類審査
18日~20日	第2回 SGRA スタディツアー「福島県飯舘村へ行って、知る・感じる・考える」
31日	2014 年度奨学生候補者予備面接(11 月7日まで)
11月9日	第2回 AFC 実行委員会(於:鹿島新館 / 財団ホール)
27日	11 月例会:鹿島技術研究所見学会・懇親会
30日	2014 年度奨学生最終選考·面接
12月5日	12月例会:個人面談(10日まで)
7日	第9回理事会(於:寺島文庫会議室)
7日	第5回 SGRA カフェ「一私人として見た日中・日韓関係」 (於:寺島文庫みねるばの森)
1月11日	1月例会:新年会(於:鹿島新館 / 財団ホール)
25日	第 46 回 SGRA フォーラム「インクルーシブ教育:子どもの多様なニーズにどう応えるか」(於:東京国際フォーラム)
2月3日	2月例会:個人面談 (7日まで)
11日	第 17 回日比共有型成長セミナー「ものづくりと持続可能な共有型成長」 (於:フィリビン大学工学部エンジニアリング・シアター)
14日	渥美財団設立 20 周年記念祝賀会 in ソウル(於:ソウル大学湖巖教授会館)
15日	第 13 回日韓アジア未来フォーラム「ボスト成長時代における日韓の課題と東アジア協力」(於:高麗大学 現代自動車経営館)
3月1日	3月例会:2013年度奨学生研究報告会(於:鹿島新館/財団ホール)

2013年度奨学生最後の食事会(於:スペイン料理「ラ・タペリア」)

第 10 回理事会(2014 年度事業計画と収支予算)(於:アルカディア市ヶ谷)

「アジアの未来へ一私の提案 vol.1:第1回アジア未来会議優秀論文集」発行

財務諸表

貸借対照表

2014年3月31日現在

(単位;円)

科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	19,125,615
2 固定資産	
(1)基本財産	2,018,951,000
(2)特定資産	126,271,957
固定合計	2,145,222,957
資産合計	2,164,348,572
Ⅱ負債の部	
1 流動負債	2,046,025
2 固定負債	3,900,000
負債合計	5,946,025
Ⅲ正味財産の部	
1 指定正味財産	2,145,222,957
(うち基本財産への充当額)	2,018,951,000
(うち特定資産への充当額)	126,271,957
2 一般正味財産	13,179,590
正味財産合計	2,158,402,547
負債及び正味財産合計	2,164,348,572

正味財産増減計算書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

(単位;円)

科目	金額
I一般正味財産増減の部	
1. 経常損益の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	34,653,187
特定資産運用益	2,130,673
受取補助金等	500,000
受取寄附金	39,946,966
雑収益	297,398
経常収益計	77,528,224
(2) 経常費用	
事業費	64,780,031
管理費	4,531,728
経常費用計	69,311,759
評価損益等調整前当期経常増減額	8,216,465
当期経常増減額	▲ 8,216,465
2. 経常外損益の部	
(1) 経常外収益	
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	8,216,465
一般正味財産期首残高	4,963,125
一般正味財産期末残高	13,179,590
Ⅱ指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	36,864,187
特定資産運用益	2,130,752
基本財産評価益	510,340,000
特定資産評価損	▲ 167,400
一般正味財産への振替額	▲ 55,095,005
当期指定正味財産増減額	494,072,534
指定正味財産期首残高	1,651,150,423
指定正味財産期末残高	2,145,222,957
Ⅲ正味財産期末残高	2,158,402,547

(2014年4月1日現在)

評議員

渥美直紀 鹿島建設株式会社代表取締役副社長 明石 康 公益財団法人国際文化会館理事長 渥美雅也 一般財団法人東京水産振興会専務理事 蟻川芳子 日本女子大学名誉教授・理事・評議員 岩崎統子 公益社団法人 CISV 日本協会副会長

加藤秀樹 構想日本代表

佐藤直子 公益社団法人プロテニス協会理事長

田村次朗 慶應義塾大学法学部教授

遠山友寛 TMI 総合法律事務所パートナー 永山 治 中外製薬株式会社代表取締役会長 堀田健介 グリーンヒル・ジャパン取締役会長

水谷 弘 専修大学名誉教授

宮崎裕子 長島・大野・常松法律事務所パートナー

八城政基 元株式会社新生銀行取締役社長

山本尚子 公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事

監事

石井茂雄 石井公認会計士事務所所長 上野 宏 一般社団法人信託協会専務理事

理事

渥美伊都子 理事長、公益社団法人 CISV 日本協会会長

今西淳子 常務理事

秋山 豪 鹿島建設株式会社顧問

高 偉俊 北九州市立大学国際環境工学部教授

片岡達治 元癌研究会癌化学療法センター主任研究員

金 外淑 兵庫県立大学看護学部心理学系教授

嶋津忠廣 事務局長

角田英一 アジア 21 ネットワークス代表

平川 均 国士舘大学 21 世紀アジア学部・大学院グローバルアジア研究科教授

李 恩民 桜美林大学リベラルアーツ学群教授

選考委員

畑村洋太郎 委員長、東京大学名誉教授、畑村創造工学研究所(産業機械工学)

井上博允 東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事(情報工学)

片岡達治 (理事)(薬学)

佐野みどり 学習院大学文学部教授(美術史)

田村次朗(評議員)(法学)平川 均(理事)(経済学)

奨学生名簿

【1995 年度奨学生】

Bambling, Michele バンブリング、ミッシェル [アメリカ] 女:コロンビア大学/慶應義塾大学 [博士] (美術史): Zayed 大学教授(在アブダビ)

Gao Lingna 高 玲娜 [中国] 女:一橋大学 [博士] (社会学):(在横須賀) Gao Weijun 高 偉俊 [中国] 男:早稲田大学 [博士] (建設工学):北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼職教授(在北九州)

Kwack Jae-Woo 郭 在祐 [韓国] 男:学習院大学 [博士] (美術史): 日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男: 東京大学 [博士] (経済学):テンプル大学講師

Park Chul-Ju 朴 哲主 [韓国] 男:慶應大学 [博士] (商学):三育大学 経営学部副教授 (在ソウル)

Park Jung-Ran 朴 貞蘭 [韓国] 女:日本女子大学 [博士] (社会福祉学): 仁済大学社会福祉科副教授(在釜山)

Shi Jianming **施 建明**[中国]男:筑波大学[博士](数理工学/社会工学): 東京理科大学経営学部教授

Yao Hui **薬** 会 [中国] 男:早稲田大学(日本文学):法政大学国際文化情報学部非常勤講師

Youn Seok-Hee **尹 錫姫** [韓国] 女: 専修大学 [博士] 商学: 仁徳大学観光学部非常勤講師(在ソウル)

○阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳晓[中国]男:神戸大学(医学)

Horng Der-Juinn 洪 徳俊 [台湾] 男:神戸大学 [博士] (経営学):国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾桃園)

Wang Libin 王 **立彬** [中国] 男:神戸大学(自然科学):(株)東洋インキ製造(在上海)

【1996 年度奨学生】

 Chantachote, Viravat
 チャンタチョテ ビラバット
 [タイ] 男: 慶應

 義塾大学
 [博士] (法学): タマサート大学法学部准教授(在バンコク)

Gulench, Selim Yucel グランチ, セリム [トルコ] 男:東京大学(政治学):宗教法人京都ムスリム協会理事、イスラーム文化センター代表(在京都)

Khin Maung Htwe キン マウン トウエ [ミャンマー] 男: 早稲田大学 [博士] (応用物理): (在ヤンゴン)

Lee Nae-Chan Huey 李 來賛 [韓国] 男:慶應義塾大学 [博士](管理 工学):漢城大学経済学部副教授(在ソウル)

Nam Ki-Jeong 南 基正 [韓国] 男:東京大学 [博士](国際関係論): ソウル大学日本研究所 HK 教授(在ソウル)

Park Keun-Hong 朴 根弘 [韓国] **男**:東京工業大学 [博士] (生命理工学) **Qiao Xin 喬 辛** [中国] **男**:東京工業大学 [博士] (無機材科工学)

Trede, Melanie Maria トレーデ、メラニー [ドイツ] 女:ハイデルベルグ大学/学習院大学 [博士] (日本美術史):ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授(在ハイデルベルグ)

Zhao Qing 趙青 [中国] 女:お茶の水女子大学(比較文化):(在東京) Zhu Tingyao 朱 庭耀 [中国] 男:東京大学 [博士](船舶海洋工学):日本海事協会技術研究所首席研究員/ハルビン工科大学客員教授

【1997 年度奨学生】

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女:東京工業大学 [博士] (日本語学):ナポリ大学オリエンターレ専任講師 (在ナポリ)

Fang Meili 方 美麗 [台湾] 女:お茶の水女子大学 [博士] (言語学):(在ロンドン)

Isananto, Winurshito イサナント、ウィヌルシト [インドネシア] 男: 慶應義塾大学 [博士] (応用化学): インドネシア工業省マナド工業規格と 研究研究所

Kim Woe-Sook **金外淑**[韓国]女:早稲田大学[博士](健康科学): 兵庫県立大学看護学部心理学系教授(在神戸)

Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi) 片桐カノックワン、ラオハブラナキット (ノイ) [タイ] 女: 筑波大学 [博士] (言語学/日本

語教育):チュラロンコン大学文学部日本語講座准教授(在バンコク)

Lee Hyang-Chul 李 香哲 [韓国] 男:一橋大学 [博士] (経済学):光 云大学日本学科教授(在ソウル)

Li Enmin 李 恩民 [中国] 男: 一橋大学 [博士] (社会学): 桜美林大学リベラルアーツ学群教授

Nizamidin Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男:東京大学 [博士] (応用化学):キモト・テック取締役(在米ジョージア)

Wang Yuepeng 王岳鵬[中国]男:東京大学[博士](医学):上海交通大学医学院付属新華病院科研中心(在上海)

Williams, Duncan ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男:ハーバード大学/上智大学 [博士] (宗教学): 南カルフォルニア大学宗教学部長(在ロサンジェルス)

Zhang Shao-min 張 紹敏 [中国] 男:東京大学 [博士] (医学): ペンシルベニア州立大学医学部神経と行動学科助理教授(在米ハーシー)

【1998 年度奨学生】

Adiole, Emmanuel アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 男: 東京大学 [博士] (政治学): ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

 Cao Bo
 曹 波
 [中国] 男: 早稲田大学 [博士] (建設工学): 株式会社 北京 NTT データジャパン

He Zuyuan 何 祖源 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端学際工学/ 光電子工学): 上海交通大学光ファイバー技術国家重点実験室教授(在上海)

Hu Jie 胡 潔 [中国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (文学):名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授(在名古屋)

Kim Jaesung 金 宰晟 [韓国] 男:東京大学(仏教学):仏教大学院大学(在ソウル)

La Insook 羅仁淑[韓国]女:早稲田大学修了、流通経済大学[博士](経済学):国士舘大学政経学部非常勤講師

Lee Joo-Ho 李 周浩 [韓国] 男:東京大学 [博士] (電子工学):立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科教授(在滋賀)

Mailisha マイリーサ[中国(内モンゴル)] 女: 一橋大学[博士](社会学): 昭和女子大学人間文化学部特命教授

Sun Yanping 孫 艶萍 [中国] 女:東京大学 [博士] (医学): コロンビア大学医学部准教授(在ニューヨーク)

Wu Hongmin 呉 弘敏 [中国] 女:東京工業大学 [博士] (精密工学): フクダ電子 (株)

Xu Xiaoyuan 許 ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 東京大学 [博士] (農業生命科学): コロンビア大学ナオミベリーセンター研究員(在ニューヨーク)

【1999 年度奨学生】

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女:東京水産大学 [博士] (資源育成学):ペルナンブコ州立大学農水学部応用遺伝子研究室助教授(在ブラジル)

Hong Kyung-Jin 洪 京珍 [韓国] 女:東京工業大学 [博士] (化学環境工学):韓国環境省環境部環境政策室化学物質安全課(在ソウル)

Hou Yankun 侯 延昆 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (物理電子化学/薬学): UBS Investment Research (在香港)

Ju Yan 具 娅 [中国] 男:筑波大学 [博士] (農学): メッツォペーバ ージャバン (株)

Li Gangzhe 李 鋼哲 [中国] 男:立教大学(経営学/経済学):北陸大学未来創造学部教授(在金沢)

Musikasinthorn Prachya ムシカシントーン、プラチヤー [タイ] 男: 東京水産大学 [博士] (資源育成学):カセサート大学水産学部所助教授 (在 バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 女: 一橋大学 [博士] (地域研究): ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員(在ハノイ)

Wang Dan 王 旦 [中国] 男:東京藝術大学 [博士] (音楽):バイオリニスト/昭光物産(株)

Yang Jie Chi 楊 接期 [台湾] 男:東京工業大学 [博士] (教育工学): 国立中央大学網路学習科技研究所教授(在台湾桃園)

Yeh Wen-chang 葉 文昌 [台湾] 男:東京工業大学 [博士] (電子物理工学):島根大学総合理工学研究科准教授(在松江)

Zhou Haiyan 周海燕[中国]女:東京医科歯科大学[博士](医学): たてやまクリニック院長(在富山県)

【2000 年度奨学生】

Jin Zhengwu 金 政武 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (物質科学):東芝 (株)

Jung Jae Ho 鄭 在皓[韓国] 男:慶應義塾大学 [博士] (物質科学): 三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在韓 CheonAnn)

Jung Sung Chun 鄭 成春 [韓国] 男:一橋大学 [博士] (経済学):対外経済政策研究院 (KIEP) 日本チーム長、一橋大学大学院経済学研究科 客員研究員 (在東京)

Ko Hee Tak 高 熈卓 [韓国] 男:東京大学 [博士] (総合文化): 延世 大学政治外交学科研究教授(在ソウル)

Lim Chuan-Tiong 林 泉忠 [香港] 男:東京大学 [博士] (国際政治学):中央研究院近代史研究所副研究員(在台北)

Molnar Margit モルナール、マルギット [ハンガリー] 女:慶應義 塾大学 [博士] (経済学): OECD 研究員 (在パリ)

Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri ナイワラ パティランネへ ラーゲ チャンドラシリ [スリランカ] 男:東京大学 [博士] (電子情報): 工学院大学情報学部准教授

Ren Yong 任 永 [中国 (内モンゴル)] 男: 群馬大学 [博士] (医学): ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米バッファロー)

Suzuki Sato Hiromi スズキ サトウ、ヒロミ [メキシコ] 女:慶應義 塾大学(経済学):(在東京)

Wu Yuping 武玉萍 [中国] 女:千葉大学 [博士] (医学): 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB) (在神戸)

Xu Xiangdong 徐 向東 [中国] 男:立教大学[博士](社会学):(株)中国市場戦略研究所代表取締役

Zeng Zhinong 曽 支農[中国]男:東京大学[博士](アジア文化):(在武漢)

【2001 年奨学生】

Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン [中国(内モンゴル)] 男:早稲田大学 [博士](東洋史): 滋賀県立大学人間文化学部准教授(在 彦根市)

Fan Jianting 範 建亭 [中国] 男:一橋大学 [博士] (経済学):上海財経大学国際工商管理学院助教授(在上海)

Jeon Jin Hwan 全 振煥 [韓国] 男:東京工業大学 [博士] (建築材料): 鹿島建設 (株) 技術研究所主任研究員

Jiang Huiling 蒋恵玲 [中国] 女:横浜国立大学 [博士] (電子情報工学): (株) NTT ドコモ北京研究所(在北京)

Jin Xianghai 金香海[中国]男:中央大学[博士](政治学):延辺大学アジア研究センター教授兼副センター長(在延吉)

Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ [マケドニア/イタリア] 男:東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学):パナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

Lee Hyun-Young 李 炫瑛 [韓国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (比較文化):建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

Lee Young-Suk 李 英淑 [韓国] 女:筑波大学 [博士] (教育学):釜山大学校師範大学数学教育科非常勤講師 (在釜山)

Liang Xingguo 梁 興国 [中国] 男: 東京大学 [博士] (化学生命工学): 中国海洋大学食品科学と工程学院教授 (在青島)

Lwin U Htay ユティルィン[ミャンマー]男:東京医科歯科大学[博士] (社会医学及び公衆衛生学):東京医科歯科大学難治疾患研究所共同研究員

Qi Jin Feng 奇 錦峰 [中国(内モンゴル)] 男:東京医科歯科大学 [博士] (薬理学):広州中医薬大学中薬学院教授(在広州)

Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリスマンティヨ、ヨサファットテトォコ [インドネシア] 男: 千葉大学 [博士] (人エシステム科学): 千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

【2002 年度奨学生】

Baek Insoo 白 寅秀 [韓国] 男:早稲田大学 [博士] (商学):(在ソウル) Chen Tzu-Ching 陳 姿菁 [台湾] 女:お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学):開南大学日語学系副教授、台湾大学兼任助理教授(在台北)

Jo Gyuhwan 曹 奎煥 [韓国] 男:早稲田大学 [博士] (地質学): JX 新日鉱日石開発 (株) (在マレーシア)

Hu Biangqun 胡 炳群 [中国] 男:日本工業大学 [博士] (システム工学): 日豊興業株式会社(在名古屋/広州)

 Iko Pramudiono
 イコ プラムディオノ
 [インドネシア] 男:東京大学

 [博士] (電子情報工学):インドネシア三井物産(在ジャカルタ)

Mandah, Ariunsaihan マンダフ、アリウンサイハン [モンゴル] 男: ー橋大学 [博士] (地域社会学): (在米カンザス)

 Mukhopadhyaya Ranjana
 ムコパディヤーヤ、ランジャナ
 [インド]

 女:東京大学 [博士] (宗教学宗教史): デリー大学・東アジア研究科准教授 (在デリー)

Park Young-June 朴 栄濬 [韓国] 男:東京大学 [博士] (国際社会科学): 国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

Sun Jianjun 孫 建軍[中国]男:国際基督教大学[博士](日本語学): 北京大学外国語学院准教授、早稲田大学孔子学院副院長、社会科学総合学 術院客員准教授

Wang Xi 王 溪 [中国] 男:東京大学 [博士] (電子情報工学)

Yimit, Abliz イミテ、アブリズ [中国 (ウィグル)] 男: 横浜国立大学 [博士] (人工環境システム): 新疆大学化学化工学院教授(在ウルムチ)

Yu Xiaofei 于 晚飛 [中国] 女:千葉大学 [博士](社会文化科学):日本大学法学部准教授

【2003 年度奨学生】

Chae Sang Heon 蔡 相憲[韓国] 男: 東京農工大学[博士] (生物生産学): 天安蓮庵大学新環境園芸科教授(在韓国天安)

Chang Kuere 張 桂娥 [台湾] 女:東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (言語文化)): 東呉大学日本語文学系助理教授 (在台北)

Husel フスレ [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博士] (地域文化):昭和女子大学人間文化学部国際学科准教授

Kim Hyeon Wook 金 賢旭 [韓国] 女:東京大学 [博士](総合文化(表象文化)):国民大学国際学部助教授(在ソウル)

Kwak Jiwoong 郭智雄[韓国]男:立教大学[博士](経営学):九州産業大学商学部商学科准教授(在福岡)

Lin Shaoyang 林 少陽 [中国] 男:東京大学 [博士](総合文化(超域文化)):東京大学総合文化研究科准教授

Lu Yuefeng 陸 躍鋒[中国] 男:東京海洋大学(海洋情報システム): Merit Intelligence Development Centre, Director (在トロント)

Piao Zhenji 朴 貞姫 [中国] 女:明海大学 [博士] (応用言語学):北京語言大学外国語学院日本語学部教授(在北京)

Tisi, Maria Elena ティシ、マリアエレナ [イタリア] 女:白百合女子大学 [博士] (児童文学):ボローニャ大学、ペルージャ外国人大学、カターニア大学 (ラグーザ) 非常勤講師 (在ボローニャ)

Yamaguchi, Ana Elisa ヤマグチ、アナエリーザ [ブラジル] 女:ー 橋大学(社会学):(在ロンドン)

Yun Hui-suk ユン ヒスク [韓国] 女:東京大学 [博士] (材料学):韓国機械研究院付属材料研究所(KIMS)(在韓慶南道昌原)

Zang LI 滅 **例** [中国] 女:東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論)):東海大学短期大学部准教授

【2004 年度奨学生】

Ampong, Beryl Nyamekye アンポン、ベリル・ニャメチェ [ガーナ] 女:東京医科大学 [博士](薬理学): (在ワシントン D.C.)

Chin, Angelina Yan Yan チン、アンジェリーナ [アメリカ] 女:カリフォルニア大学サンタクルーズ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー研究): Pomona College 准教授(在カリフォルニア)

Khomenko, Olga ホメンコ、オリガ[ウクライナ] 女:東京大学[博士] (地域文化研究): キエフモヒラアカデミー国立大学文学部歴史学科シニア 講師、ジャーナリスト (在キエフ)

Lee Jea Woo 李 済字 [韓国] 男:早稲田大学 [博士] (地盤地震工学): Worley Parsons(在メルボルン)

Lee Sung Youn 李 承英 [韓国] 女:筑波大学 [博士] (言語学):光 云大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟子敏[中国]男:筑波大学[博士](言語学):松山大学人文学部教授(在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] (男): 慶応大学 (環境デザイン): RAUM Architects 社長(在ロシア、ウファ)

Napoleon ナポレオン [インドネシア] 男:東京工業大学 [博士] (機 械制御システム): SMBC 日興証券

Sonntag, Mira ゾンターク、ミラ [ドイツ] 女:東京大学 [博士] (宗教史学):立教大学文学部キリスト教学科准教授

Tsai Ying-hsin 蔡 英欣 [台湾] 女:東京大学 [博士] (法学):国立台湾大学法学部助教授(在台北)

Yang Myung Ok 梁 明玉 [韓国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション特任リサーチフェロー

Ye Sheng 叶盛[中国]男:東京大学[博士](先端学際工学):東莞九城星医薬科技有限公司(在香港)

【2005 年度奨学生】

Bao Lian Qun 包 聯群 [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学): 大分大学経済学部准教授

Han Junqiao 韓 珺巧 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):国立ローレンス・バークレー研究所研究員 (在カリフォルニア)

Han Kyoung Ja 韓京子 [韓国] 女:東京大学 [博士] (日本文化研究): 慶熙大学校日本語学科助教授(在ソウル)

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 女:横浜国立大学 [博士] (物理情報工学): 東芝セミコンダクター社

Kim Bumsu 金 範珠 [韓国] 男:東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴史)):(社) 国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、(韓国) 国立公州大学客員教授、(中国) 湖南師範大学客員教授

Kim Yeonkyeong **金 娟鏡**[韓国]女:東京学芸大学[博士](心理学): 鹿児島大学教育学部家政専修准教授(保育·児童学担当)

Lan Hong Yueh 藍 弘岳 [台湾] 男:東京大学 [博士] (地域文化研究): 国立交通大学社会と文化研究所副教授(在台北)

Tenegra, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレション ティウ [フィリピン] 女: お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学): (在フィリピンセブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 男:東京工業大学(数理・計算科学):(株) トリニティセキュリティシステムズ

Wang Xueping 王 雪萍[中国] 女: 慶応義塾大学[博士] (政策メディア): 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科准教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健獣 [香港] 男:総合研究大学院 [博士] (統計科学):ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校研究員(在ボストン)

Zhao Changxiang 趙 長祥 [中国] 男:一橋大学 [博士] (商学):(在上海)

【2006 年度奨学生】

Chu Xuan Giao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 男:東京外国語大学(文化人類学): ベトナム社会科学院文化研究所研究員(在ハノイ)

Hu Xiuying 胡 秀英 [中国] 女:千葉大学 [博士](看護教育学):四川大学華西看護学部華西病院准教授(在成都)

Hyun Seungsoo 女 承洙 [韓国] 男:東京大学 [博士] (地域文化): 漢陽大学 HK 教授 (在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 男:慶応義塾大学 [博士] (政治学): 中国 社会科学院アジア太平洋・グローバル(全球)研究院(在北京)

Mohottala, Shirmila モホッ**タラ、シャミラ** [スリランカ] 女:東京大学 [博士] (情報理工学):(在スリランカ)

Pantcheva, **Elena Latchezarova** パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 女: 千葉大学 [博士] (日本研究): (在ブルガリア)

Seo Kyoung Sook 徐 景淑 [韓国] 女:慶応義塾大学 (美学美術史):(在ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキャット[シンガポール] 男: 東京大学[博士] (教育学): 昭和女子大学人間社会学部准教授

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学):東京大学教養学部専任講師

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 男:電 気通信大学 [博士] (電子工学): シュルンベルジェ (株) 電子エンジニア

Woo Seonghoon 禹 成勲[韓国] 男:東京大学[博士](建築学):(在仁川)

【2007年度奨学生】

Gangbagana ガンバガナ [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博士] (地域文化研究): 国際教養大学基盤教育助教 (在秋田)

Kim Minsuk 金 攻淑 [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):日本ミクニヤ株式会社(在京都)

Lee Eungyong 李 垠庚 [韓国] 女:東京大学 [博士] (地域文化研究): ソウル大学日本研究所 HK 研究教授(在ソウル) Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドシュクル [中国(ウィグル)] 男: 東京医科大学 [博士](外科学): 新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一 人民病院腫瘍センターセンター長(在カシュガル)

Park Sohyun 朴 昭炫 [韓国] 女:東京大学 [博士] (文化資源学): 韓国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

Porras Rojas Oscar ポラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 男:東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学): コスタリカ大学太平洋岸校副学長(在コスタリカ、プンタレナス)

Quan Mingai 權 明愛[中国]女:日本社会事業大学[博士](社会福祉学): 十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jian Hong 王 **剣宏** [中国] 男:早稲田大学 [博士] (建設工学): (株) 日本工営中央研究所研究員

Ohinata Mine (Yan Hainian) 大日向美音(顔 海念)[中国]女:東京大学[博士](国際保健学):(株)中外製薬医薬安全性本部安全性データマネジメント部

Yaroslav, Shulatov ヤロスラブ、シュラトフ [ロシア] 男:慶応義 塾大学 [博士] (政治学):広島市立大学国際学部専任講師(在広島)

【2008 年度奨学生】

Feng Kai 馮 凱 [中国] 男:東京大学 [博士] (機械工学):湖南大学機械学院教授(在長沙)

Hong Yunshin 洪ユンシン [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (国際関係学): 早稲田大学国際言語文化研究所客員研究員、青山学院大学非常勤講師

Shiohara Vroni Friederike 塩原フローニ・フリデリケ [ドイツ/スイス] (女):東京藝術大学 [博士] (文化財保存学):トヨタ自動車(株)

Liu Jian **劉 健** [中国] 女:北京大学/早稲田大学 [博士] (日本語言文化):首都師範大学専任講師(在北京)

Lkhamsuren, Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 男:早稲田大学(国際関係学)

Nemekhjargal **ネメフジャルガル** [中国(内モンゴル)] 男: 亜細亜大 学 [博士](経済学): 内モンゴル大学モンゴル学研究センター(在フフホト)

Phuong, Kimchhayarasy プアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 女: 宇都宮大学 [博士] (物性工学): (在東京)

Song Gang 宋 剛 [中国] 男:桜美林大学 [博士] (地域文化):北京外国語大学日本語学部専任講師(在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女: 学習院大 学 (哲学)

Wang Wei 王 偉 [中国] 男:千葉大学 [博士] (人工システム): 南京 信息工程大学教授(在南京)

Xiu Zhen 修 震 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (機械制御システム): セコム株式会社 IS 研究所

Yuk Jaehwa 陸 載和 [韓国] 男:武蔵野美術大学(造形芸術):武蔵野美術大学非常勤講師

Zhang Jian 張 建 [中国] 男:東京大学 [博士] (教育学): (株) ハウスメイト企業開発本部

【2009 年度奨学生】

Choi Eunseok 崔 恩碩 [韓国] 男:国民大学/東京大学 [博士] (日本 史学):駐広島韓国総領事館先任研究員(在広島)

Darwisheh, Housam ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 男:東京外 国語大学 [博士] (地域文化研究):日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア 経済研究所

Kato Kaba Melek カトウメレキ [トルコ] 女:筑波大学 [博士](文芸・言語):白百合女子大学非常勤講師

Kim Youngsoon 金 英順 [韓国] 女:立教大学 [博士] (日本文学):立教大学文学部非常勤講師

Kwak Youngjoo 郭 栄珠 [韓国] 男: 千葉大学 [博士] (地球生命圏科学): (独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 車門研究員

Kwon Nam-hee 権 南希 [韓国] 女:東京大学(国際法):関西大学政 策創造学部助教(在大阪)

Rinchin リンチン [中国(内モンゴル)] 男:東京外国語大学 [博士](地域文化研究): 愛知大学国際中国研究センター日本学術振興会外国人特別研究員(在愛知県みよし市)

Schicketanz, Erik Christopher シッケタンツ, エリック [ドイツ] 男: 東京大学 [博士] (宗教学宗教史学):東京大学大学院人文社会系研究科特 別研究員

Shermatov Ulugbek シェルマトフ・ウルグベック [ウズベキスタン] 男:明治大学 [博士] (民事法学):ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在 タシケント)

Son Jounga 孫 貞阿 [韓国] 女:東京大学 [博士] (森林科学): 国立 山林科学院森林病害虫研究科 (在ソウル)

Veldkamp, Elmer フェルトカンプ, エルメル [オランダ] 男:東京大学 [博士] (文化人類学):ライデン大学日本学研究所専任講師 (在ライデン)

Ye Kyaw Thu イェ チョウ トゥ [ミャンマー] 男:早稲田大学 [博士] (国際情報通信学): (独) 情報通信研究機構 (NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所研究員 (在京都)

Zhu Lin 朱 琳 [中国] 女:東京大学 [博士] (アジア政治思想史):神 奈川大学外国語学部中国語学科助教

【2010 年度奨学生】

Phramahāchatpong Katapuññoプラマハチャッポン[タイ] 男:東洋大学 [博士] (仏教学): (在米シアトル)

Choi Jung Eun 崔 禎恩 [韓国] 女:東京藝術大学 [博士] (文化財保存学): 韓国国立民俗博物館研究員 (在ソウル)

Kiatkobchai Siratsanan キャアコプチャイ・スィラッサナン [タイ] 女:学習院大学 [博士] (日本語日本文学):(株) アートボックス

Kim Kyongtae 金キョンテ [韓国] 男:高麗大学/東京大学 (歴史学): 高麗大学校韓国史研究所研究員

Lee Hyun Bon 李 賢凡 [韓国] 男:東京工業大学 [博士] (材料工学): (株) POSCO 研究員(在韓国全羅南道)

Li Jun 李 軍 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (国語教育学):早稲田大学、学習院大学非常勤講師

Lu Liang **蘆 亮**[中国]男:東京工業大学[博士](原子核工学):中国科学院近代物理研究所研究員(在蘭州)

Magid, Evgeni マギッド, イヴゲニ [イスラエル/ロシア] 男: 筑波 大学 [博士] (知能機能システム): ブリストル大学ブリストルロボットエ 学研究所研究員 (在ブリストル)

Mya Dwi Rostika ミヤ・ドゥイ・ロスティカ [インドネシア] 女: 国士舘大学(政治学): 国士舘大学非常勤講師、アジア・日本研究所研究

Vigouroux, Mathias Dominique Yves ヴィグル, マティアス [フランス] 男: 二松学舎大学 [博士] (中国学): 浙江大学 (在杭州)

Wang Xin 王 昕 [中国] 男:東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学):ローム株式会社(在京都)

Yoon Jin-Hee **尹ジンヒ** [韓国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際研究): (在島根県)

【2011 年度奨学生】

Chong Soonil 鄭 淳一 [韓国] 男:早稲田大学 [博士](アジア地域文化学):高麗大学・淑明女子大学非常勤講師(在ソウル)

Ho Van Ngoc ホーヴァンゴック[ベトナム] 男:千葉大学 [博士] (建築都市科学): 鹿島建設 (株) 建築設計本部

Kang Moonhee 姜文熈 [韓国] 女:日本社会事業大学(社会福祉学) Kim Eun Hye 金銀恵 [韓国] 女:ソウル大学/東京大学 [博士](都市社会学):韓国放送通信大学非常勤講師

Kim Soongbae 金 崇培 [韓国] 男:延世大学/慶應義塾大学(国際政治学):(在ソウル)

Lee Hyojeong 李孝庭[韓国]女:国際基督教大学(比較文化):(在ソウル)

Li Yanming 李彦銘[中国]女:慶応義塾大学(政治学):人間文化研究機構地域研究推進センター、慶應義塾大学東アジア研究所・現代中国研究センター研究員

Naheya ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (地域文化): 中国内蒙古大学蒙古歴史学学部教授 (在フフホト)

Park Joonui 朴 准儀 [韓国] 女:ボストン大学/東京大学(国際政治経済):(在ボストン)

Peng Hao 彭浩 [中国] 男:東京大学 [博士] (日本文化研究):東京大学史料編纂所外国人研究員

Piao Wenying 朴 文英 [中国] 女:東京医科歯科大学 [博士] (脳神経 病態学):東京医科歯科大学ポスドク研究員

Sie Huei-zhen 謝 惠貞 [台湾] 女:東京大学 [博士] (アジア文化研究): 帝京科学大学非常勤講師

【2012 年度奨学生】

Chen Jing-Young 陳景揚 [台湾] 男:東京大学(文化人類学)

Choi Seung-won 崔 勝媛 [韓国] 女:東京大学 [博士] (生物科学): 理化学研究所環境資源科学研究センター植物免疫研究グループ特別研究員 **Dale, Sonja** デール、ソンヤ [ノルウェー] 女:上智大学 [博士] (グローバル社会):上智大学グローバルスタディーズ研究科特別研究員、東海大学非常勤講師

Flick, Ulrich フリック、ウルリッヒ [ドイツ] (男): ハイデルベルグ 大学/早稲田大学 (東アジア研究): (在ドイツ)

Han Lingji 韓 玲姫 [中国] 女: 筑波大学 [博士] (情報メディア): 東京国際ビジネスカレッジ国際言語コミュニケーション学科講師

Li Xue 李雪[中国]女:筑波大学[博士](文芸·言語):千葉大学文学部研究支援要員(技術補佐員)非常勤

Oh Jung Keun 呉 正根 [韓国] 男:横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント):横浜国立大学研究員

Park Hyunjung 朴 炫貞 [韓国] 女:武蔵野美術大学 [博士](造形芸術): 映像作家

Rio, Aaron リオ、アーロン [アメリカ] 男:コロンビア大学/学習院大学(日本美術史)

Sung KiHyuk 成 耆赫 [韓国] 男:明治大学(日本文学)

Uzum, Abdullah ウズム・アブドゥラ [トルコ] 男:東京農工大学 [博士] (情報工学):兵庫県立大学電子情報電気工学科ポスドク研究員

Yin Feilong 尹 飛龍 [中国] 男:東京農工大学 [博士] (機械システム工学):井関農機 (株)

Zheng Xiu 鄭秀[中国] 男:東京医科歯科大学[博士](消化器病態学):東京医科歯科大学消化器内科外国人研究者

【2013 年度奨学生】

Aroz, **Rafael Aingeru アロツ、ラファエル アインゲル**[スペイン]男: 東京大学(文化・人間情報学)

Choi Gayoung 崔 佳英 [韓国] 女:東京大学(社会学)

Hao Liang 郝 亮 [中国] 男:千葉大学 [博士] (人エシステム科学): 天津科学技術大学講師 (在天津)

Hsu Han-Hsiu 許 漢修 [台湾] 男: 筑波大学 [博士] (生命産業科学): (新) 産業技術総合研究所つくばセンターポスドク研究員

Jin Guiying 金 桂英 [中国] 女:早稲田大学(日本語教育学)

Lee Saebom 李 セボン [韓国] 男:東京大学(地域文化研究)

NordstrÖm, Karl Johan ノルドストロム、カール ヨハン [スウェーデン] 男:早稲田大学(演劇映像学)

 Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo
 タマヨ、ルイス
 エフライン エドアルド [コロンビア] 男:東京大学 [博士] (先端学際工学):(株) 日立製作所日立研究所研究員

Virag, Viktor ヴィラーグ、ヴィクトル [ハンガリー] 男:日本社会 事業大学(社会福祉学)

Xie Pu 解 璞 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (日本語日本文学):(在北京) Zamengo, Massimiliano ザメンゴ、マッシミリアーノ [イタリア] 男:東京工業大学 [博士] (原子核工学):東京工業大学研究員

Zhang Liang 張亮[中国]男:慶應義塾大学(医学研究):慶應義塾大学医学部研究員

【2014年度奨学生】

Abdin, Mohamed Omer アブディン、モハメド オマル [スーダン] 男:東京外国語大学(総合国際学)

Cakir, Muratチャクル、ムラット[トルコ] 男: 筑波大学(教育基礎学)Chae Kyeonghoon蔡 炅勲[韓国] 男: 東京芸術大学(映像メディア学)Gerelchuluun, Ariungerelゲレルチュルン、アリウンゲレル[モンゴル] 女: 筑波大学(疾患制御医学)

Goginashvili, David ゴギナシュヴィリ、ダヴィド [グルジア] 男: 慶應義塾大学(政策メディア)

Hu Yanhong 胡 艷紅 [中国] 女:筑波大学(歴史·人類学)

Kim Taehee 金 兌希 [韓国] 女:慶應義塾大学(政治学)

Li Hui 李暉[中国]女:東京大学(建築学)

Li Ting 李婷[中国]女:早稲田大学(日本語教育学)

Mohammad, Jakfar Idrus ムハッ**マー、ジャクファル・イドルス** [インドネシア] 男:国士舘大学(政治学)

Ryu Chung Hee 柳 忠熈 [韓国]男:東京大学(比較文学比較文化) Wang Huijun 王 慧雋 [中国]女:早稲田大学(日本語教育学)

以上

2013年度の活動にご協力いただいた皆様

~ありがとうございました~

奨学および国際交流事業への寄附・賛助

団体

(株) アクト・テクニカルサポート

大和証券 (株)

鹿島道路 (株)

鹿島建物総合管理(株)

大興物産 (株)

(株) 八重洲ブックセンター

ケミカルグラウト (株)

イースト不動産 (株)

鹿島建設 (株)

かたばみ興業 (株)

(株) 都市環境エンジニアリング

横浜実業 (株)

中外製薬 (株)

(株) イリア

鹿島リース (株)

(株) 三井住友銀行

東亜産業 (株)

個人

今西淳子

洪ユン伸

李 鋼哲

朴 哲主

谷原 正

八城政基

SGRA の活動支援への寄附・賛助

団体

(株) イリア

(一財) 鹿島平和研究所

鹿島建物総合管理(株) キッコーマン(株)

(株) 小堀鐸二研究所

中鹿営造股份有限公司

(株) 虎屋

プラス (株)

明石 康

双日 (株)

秋山 豪

深見尚史

大興物産 (株)

個人

阿部和彦	足立憲彦	赤池 豊
蟻川芳子	渥美直紀	渥美美恵子
原 嘉男	橋本留理子	畑村洋太郎
侯 延琨	胡 炳群	藤井純一
井手園子	井上博允	石田弘幸
岩崎統子	金 政武	具 延
加藤メレキ	河村一雄	金 外淑
栗原俊記	栗屋志伸	郭 栄珠
前川昭一	真辺文宏	三澤正勝
森本洋史	長岡 實	永山 治
中澤忠義	並木隆史	野村継男
太田美行	大塚 寿	大内聖子
瀬谷啓二	施 建明	島田文雄
鈴木 茂	高橋信之	高橋 甫
瀧沢秀利	谷原 正	田代民治
外岡 豊	遠山幸三	恒川惠市
武 玉萍	山田俊作	山縣 睦

詹 彩鳳 林 弘之 藤田隆則 石川ヨシ子 金子 宏 岸本啓子 李 恩民 宮川守久 中村順次 大日向美音 大脇正志 嶋津忠廣 高橋 司

王 剣宏

八城政基

星埜弘明 船本洋治 石山 勉 狩野正利 小松親次郎 李 鋼哲 宮崎幸雄 中曽根弘文 岡本和久 佐野みどり 塩崎恭久 竹本 孝 マリアエレナティシ 東城清秀 王 雪萍 干 暁飛

青木生子 高 偉俊 堀田健介 フスレ 岩間陽一郎 片岡達治 近藤寿治 前川麻里 水谷 弘 中谷俊信 奥村裕一 佐藤直子 鈴木雅也 竹内 忍 戸河里 敏 呉 弘敏 朱 庭耀